

レジリエントな DX社会をつくる

—災害・防災の最前線—

2024
3/4月

14:00 ~ 17:00

〈参加無料〉

東京会場

筑波大学東京キャンパス文京校舎 120 講義室

〒112-0012 東京都文京区大塚 3-29-1

大阪会場

TKP 新大阪ビジネスセンター ホール 3A

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-13-9

東京会場・大阪会場・
Zoom ウェビナーによる
ハイブリッド形式で開催

DX (デジタル・トランスフォーメーション) とは、様々なデジタル技術を活用しながら、私たちの社会や生活をより良いものへ変えていこうとする考えです。この考え方は、レジリエントな社会を作るための防災技術や災害対応の現場でも取り入れられています。今回は、企業および研究者の立場から、DXを使ってどのような変革を進めようとしているのかを紹介し、パネルディスカッションで今後のDX社会のあり方を議論します。なお、研究者側からは、令和6年 能登半島地震での災害対応についても緊急報告がある予定です。

今回は、東京会場・大阪会場の2会場による同時開催、およびオンラインでの同時配信を行います。対面ではご都合がつかない方は、簡易的にはなりますが、オンライン配信でもご参加ください。皆様のご参加をお待ちしております。

お申込みはこちらから

<https://forms.gle/LD73msxobDHEJAzL7>



申込締切

2024
2/29(木)

PROGRAM 総合司会：木村 玲欧氏 巨大災害研究会 会長 / 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授

開会

14:00 ~ 14:05 オープニング

(大阪会場) 木村 玲欧氏

14:05 ~ 14:10 開会挨拶

(東京会場) 遠藤 靖典氏 巨大災害研究会 副会長 / レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 副会長 / 筑波大学 システム情報系 教授

第1部

14:10 ~ 14:50 講演1 「防災・減災総合ソリューション事業の実現に向けて」

(東京会場) 川谷 篤史氏 東京海上日動火災保険株式会社 dX 推進部 BD(ビジネスデザイン)室 マネージャー

14:50 ~ 15:30 講演2 「『応急対応 DX』からガバナンスにアプローチする」

(大阪会場) 永松 伸吾氏 関西大学社会安全学部 教授 / 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 招へい研究員(部門長)

(東京会場) 折橋 祐希氏 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 特別研究員

第2部

15:50 ~ 16:50 パネルディスカッション「レジリエントなDX社会をつくる」モデレーター：遠藤 靖典、木村 玲欧

川谷 篤史氏 / 永松 伸吾氏 / 折橋 祐希氏

(東京会場) 内山 庄一郎氏 防災科学技術研究所 マルチハザードリスク評価研究部門 主任専門研究員

(東京会場) 酒井 慎一氏 巨大災害研究会 副会長 / 東京大学大学院 情報学環・学際情報学府 教授

(大阪会場) 井ノ口 宗成氏 巨大災害研究会 事務局長 / 富山大学 都市デザイン学部 准教授 / 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 主幹研究員

開会

16:50 ~ 17:00 閉会挨拶

(東京会場) 寶 馨氏 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 会長 / 防災科学技術研究所 理事長



東京海上日動火災保険株式会社
川谷 篤史氏



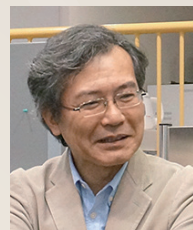
関西大学 教授
永松 伸吾氏



防災科学技術研究所
折橋 祐希氏



防災科学技術研究所
内山 庄一郎氏



東京大学 教授
酒井 慎一氏



富山大学 准教授
井ノ口 宗成氏